

【国土交通省・東京都作成メモ】

## 第13回 P I 外環沿線協議会（概要メモ）

1. 日時：平成15年2月4日（火） 午後7時00分～9時00分

2. 会場：都庁第一庁舎5階 大会議場

3. 出席者：26名

関係者（敬称略）

須山 直哉（練馬） 武田 佳登（練馬） 湯山 茂（練馬） 宿澤 藤子（杉並）

本橋 又藏（杉並） 濱本 勇三（武蔵野） 村田 あが（武蔵野） 川瀬 春吉（三鷹）

新 守一（三鷹） 米津 鐵雄（三鷹） 川原 主計（調布） 小林 充夫（調布）

渡辺 俊明（調布） 橋本 妙子（狛江） 秋山 光男（世田谷） 江崎美枝子（世田谷）

栗林 勝彦（世田谷）

地元自治体

水上 英昭（練馬区部長） 倉田 征壽（杉並区部長） 伊藤 隆造（武蔵野市部長）

柴田 直樹（三鷹市部長） 栗下 孝（世田谷区部長）

国土交通省・東京都

大寺 伸幸（関東地方整備局道路企画官） 伊勢田 敏（関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所長）

成田 隆一（東京都外かく環状道路担当部長） 宮良 眞（東京都外かく環状道路担当課長）

4. 傍聴者：約50名

5. 概要：

## 【昭和41年都市計画決定について】

- ・当時の都市計画審議会の資料について、次回の協議会までに意見書として出すので、次回、討議願いたい。

## 【練馬区間の経緯について】

- ・当時は非常に乱暴な古い体質の行政文化で行われた。今後行われる都市づくりや道路づくりについては、こういう撒を踏んでもらっては困る。
- ・今、外環の路線について既に歴史的な事実として確定しつつあり、評価はできがたい。協議員がそれぞれ意見を出し、十分議論しなければならない。
- ・区として都市計画審議会の意見として21項目の条件をつけた。外環の放射7号線以北は、谷原交差点の交通処理対策の一環として位置づけられている。次々回以降、機会があれば資料提出していきたい。
- ・谷原交差点の問題については外環の必要性の有無を議論する前の大事なことであり、きちんと報告すべき。今、谷原交差点がどうなっているのか明確にすべき。
- ・東名高速でストップするということに対して、目黒区、大田区、川崎市に住む方が東名を利用することを考えると、開通後は混雑が発生するのは目に見えているので第三京浜までつなげるべき。
- ・外環の問題を解決するためには、まず、練馬の出口の問題を解決すべき。

## 【その他】

- ・次回は、2月20日午後7時から、昭和41年都市計画決定について、練馬区間について議論させていただき、その後、時間があれば必要性の有無の議論に入っていく。